

平成28年度  
赤谷森林ふれあい推進センター  
活動報告

資 料 編



## 平成28年度 赤谷森林ふれあい推進センターのイベント等実績表

## 【未就学児・小・中学生を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.07.21	木	新治小学校サマースクール	森の探検ウォークラリー	高原千葉村	新治小学校	39	-	
H28.07.29	金	放課後子ども教室 北っ子くらぶ ディキャンプ	森の探検ウォークラリー、クラフト	月夜野北小学校	北っこくらぶ	36	-	
H28.08.02	火	さの子どもECO教室	森の探検ウォークラリー	高原千葉村ほか	高崎市 佐野公民館	20	-	
H28.09.11	日	朝日ヶ丘中学校 体験学習	森の探検ウォークラリー	高原千葉村	朝日ヶ丘中学校	13	-	
H28.09.13	火	草野中学校 体験学習	森の探検ウォークラリー	高原千葉村	草野中学校	31	-	
H28.10.05	水	沼田北小学校 体験学習	森の探検ウォークラリー	高原千葉村	沼田北小学校	69	-	
H28.10.07	金	新治小学校 遠足(森林環境学習)	旧三国街道への遠足(森林環境学習)	旧三国街道	新治小学校	34	-	
H28.10.16	日	新治小学校 未来へつなぐ森づくり活動	親子ドングリ拾い	新治小学校	新治小学校PTAほか	70	-	
H28.10.25	火	ももの子クラブ こども教室	森の話、クラフト	桃野小学校	もものっ子クラブ	55	-	
H28.11.08	火	花見川中学校 体験学習	森の探検ウォークラリー	高原千葉村	花見川中学校	52	-	
H28.11.14	月	岳の子クラブ こども教室	森の話、クラフト	みなかみ小学校	みなかみ小学校	34	-	
H28.11.21	月	古馬牧っ子(こめまきっこ) わくわく教室	森の話、クラフト	古馬牧小学校	古馬牧小学校	44	-	
H28.12.01	木	新治小学校 旧三国街道遠足事後学習	10/7旧三国街道の遠足の事後学習(ふりかえり、動物調査)	新治小学校	新治小学校	33	-	
H28.12.24	土	高原千葉村 クラフト教室	森の話、クラフト	高原千葉村	高原千葉村	43	-	
計						573		

## 【大学生・一般の方を対象とした森林環境教育】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.05.14	土	放送大学面接授業(講義)	国有林野の生物多様性復元事業について赤谷プロジェクトの内容及意義(講義:魚住所長)	高原千葉村	放送大学 群馬学習センター	23	-	
H28.05.15	日	放送大学面接授業(現地実習)	赤谷源流の豊かな自然を観察し、わが国の水源と生物多様性を考える(講師:長島成和、アシスタント:赤谷センター職員)	赤谷プロジェクトエリア	放送大学 群馬学習センター	23	-	
H28.05.17	火	生物多様性保全研修	国有林野の生物多様性復元事業について赤谷プロジェクトの内容及意義及び赤谷森林ふれあい推進センターの取組	赤谷プロジェクトエリア	関東森林管理局	10	-	
H28.05.18	水	生物多様性保全研修	猛禽類調査の実習	赤谷プロジェクトエリア	関東森林管理局	10	-	
H28.06.25	土	関東森林管理局 業務説明会	赤谷プロジェクトの概要と業務説明、自然林復元試験地の見学と説明	赤谷プロジェクトエリア	関東森林管理局	6	-	
H28.10.13	木	群馬県立農林大学校 森林管理実習	生物多様性の復元と持続的な地域づくりの取組の講義及び現地見学	赤谷プロジェクトエリア	群馬県立農林大学校	18	-	
H28.11.09	水	環境省自然保護官研修Ⅲ	林野行政に見る地域協働～赤谷プロジェクトを例に～赤谷プロジェクト協定3者それぞれの立場からの講義	環境省環境調査研修所	環境省環境調査研修所	8	-	
H29.02.17	金	JICA ホンジュラス 研修	「生物回廊における生物多様性の持続的利用とその保全コース」生物多様性の復元と持続的な地域づくりの取組の講義及び現地見学	赤谷プロジェクトエリア	JICA	11	-	
H29.03.14	火	千葉市教育委員会 自然教室利用説明会	森の体験ウォークラリー、ネイチャークラフトの説明及び体験	高原千葉村	高原千葉村	9	-	
計						118		
森林環境教育 合計						691	0	

## 【普及啓発活動(赤谷センターが協力したイベント等)】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.04.09	土	あかぎ南ろく桜フェスタ2016	ネイチャークラフト体験(ヒノキ球果・森のかけらストラップ、ロケットリーフ)、パネル展示、パンフレット	国立赤城青少年交流の家	国立赤城青少年交流の家	206	1,532	
H28.04.29	金・祝	2016敷島公園祭り	ネイチャークラフト体験(ヒノキ球果・森のかけらストラップ、ロケットリーフ)、パネル展示、パンフレット、木の実の展示	前橋市敷島公園	関東森林管理局	279	560	
H28.05.01	日	JR上毛高原駅赤谷プロジェクトPRブースオープン	JR上毛高原駅構内「みなかみ町展示場」赤谷プロジェクトのPR(パネル展示、パンフレットなど)	JR上毛高原駅	赤谷プロジェクト	-	22,000	パンフ等 1,191枚
H28.05.21	土	赤谷の森自然散策(第1回)	旧三国街道自然散策 ～新緑の三国街道をゆく～	旧三国街道	みなかみ町 赤谷センター	35	-	
H28.07.30	土	木のおもちゃで遊ぼう ～みなかみエコパークイベント～	パネル等の展示のみ 木育フェスティバル/赤谷の森で木育! -赤谷プロジェクト活動報告会2016-	新治小学校	みなかみ町	77	700	
H28.08.06	土	ぐんま山フェスタ	パネル展示、パンフレット	群馬県庁	ぐんま山フェスタ実行委員会	-	5,500	
H28.08.11	木・祝	環境と森と木のまつり(21世紀の森まつり)	ネイチャークラフト体験(森のかけらストラップ、ロケットリーフ) パネル展示、パンフレット	県立森林公園(21世紀の森)	環境と森と木のまつり 実行委員会	160	-	
H28.09.10	土	山の日制定記念「赤谷の森へ 巨樹・巨木を見に行こう」自然散策	「小出俣 巨樹・巨木コース」散策	小出俣(大源田外2国 有林)	赤谷センター	18	-	
H28.10.23	土	赤谷の森自然散策(第2回)	旧三国街道自然散策 ～私の秋、赤谷の森にありました～	旧三国街道	みなかみ町 赤谷センター	41	-	
H28.11.08	火	akayaカフェ ～寺田本家に学ぶ自然の恵みのいかし方～	1.赤谷プロジェクトの紹介、2.寺田本家の酒造りと地域作り～自然の恵みの活かし方(寺田本家24代当主:寺田優)	たくみの里 須川公民館	赤谷プロジェクト	35	-	
H28.11.26	土	マツノコデラックスin民話と紙芝居の家	自然の素材でクラフト、民話と紙芝居	民話と紙芝居の家	NPO法人新治こども文化塾(猿ヶ京)	20	-	
H28.12.04	日	第21回ごったくまつり	ネイチャークラフト体験(ヒノキの球果・森のかけらストラップづくり)、どんぐり転がし、森のつみき、パネル展示	利根沼田文化会館	ごったくまつり実行委員会	76	800	
H29.02.04	土	みなかみ町環境学習発表会	赤谷プロジェクト協定3者で、ネイチャークラフト体験(カスターネットの絵付、ヒノキの球果・森のかけらストラップ)、森のつみき、ドングリ転がし	みなかみ町 カルチャーセンター	みなかみ町	-	250	
H29.02.11	土・祝	赤谷の森自然散策(第3回)	いきもの村自然散策(スノーシュー体験ほか) ～冬の森で「いきもの」たちを感じよう!～	いきもの村、民話と紙芝居の館	みなかみ町 赤谷センター	55	-	
H29.02.23	木	平成28年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会	赤谷プロジェクトを取り入れた森林環境教育(発表:松井指導官)	関東森林管理局	関東森林管理局	50	450	
H29.03.05	日	akayaカフェ ～草木染めで奥利根300年の森の恵みと出逢う～	奥利根のブナ太郎を材料にした染料や、他の樹木から作った染料を使用し、染め物体験や、染めた手ぬぐいの絵付け体験	草木屋 染の家	赤谷プロジェクト	25	-	
計						1,077	31,792	

## 【視察等】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.06.01	水	林野庁 経営企画課 視察	赤谷プロジェクト 視察	赤谷プロジェクトエリア	関東森林管理局	6	—	
H28.11.30	水	平成28年度 関東地方連絡会議	現地視察	赤谷プロジェクトエリア	関東森林管理局	15	—	
<b>計</b>						<b>21</b>		

## 【その他】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.09.25	土	新治小学生・中学生のイヌワシ観察会	イヌワシの観察会	赤谷プロジェクトエリア	NACS、猛禽WG	16	—	
<b>計</b>						<b>16</b>		

## 【赤谷の日】

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者	参加人数	来場者数	備考
H28.04.02	土	赤谷の日	1.初回案内、2.里山環境整備、3.水生生物の生息環境保全、4. 歩道整備、5.南ヶ谷湿地モニタリング調査、6.ホンドテンモニタリング調査	赤谷プロジェクトエリア	地域協議会	19	—	
H28.05.07	土	赤谷の日	1.里山環境整備、2.歩道整備、3.南ヶ谷湿地モニタリング調査、4.ホンドテンモニタリング調査	赤谷プロジェクトエリア	日本自然保護協会	19	—	
H28.06.04	土	赤谷の日	1.いきもの村環境整備、2.ホンドテンモニタリング調査、3.南ヶ谷湿地モニタリング調査、4. ニホンジカライトセンサス	赤谷プロジェクトエリア	赤谷センター	24	—	
H28.07.02	土	赤谷の日	1.歩道整備、2.里山整備、3.ホンドテンモニタリング調査、4.南ヶ谷湿地モニタリング調査	赤谷プロジェクトエリア	地域協議会	19	—	
H28.08.06	土	赤谷の日	1.いきもの村の環境整備、2.南ヶ谷湿地モニタリング調査 3.ニホンジカライトセンサス 4.初回案内	赤谷プロジェクトエリア	日本自然保護協会	8	—	
H28.09.03	土	赤谷の日	1.いきもの村環境整備、2.ホンドテンモニタリング調査、3.南ヶ谷湿地会議、4.ニホンジカライトセンサス	赤谷プロジェクトエリア	赤谷センター	17	—	
H28.10.01	土	赤谷の日	1.歩道整備、2.里山整備、3.南ヶ谷湿地モニタリング調査、4.小出俣巨樹・巨木コース散策、5.ニホンジカライトセンサス	赤谷プロジェクトエリア	地域協議会	15	—	
H28.11.05	土	赤谷の日	1.いきもの村環境整備、2.ホンドテンモニタリング調査、3.南ヶ谷湿地モニタリング調査、4.初回案内、5.ニホンジカライトセンサス	赤谷プロジェクトエリア	日本自然保護協会	19	—	
H28.12.03	土	赤谷の日	1.いきもの村環境整備、2.ニホンジカライトセンサス	赤谷プロジェクトエリア	赤谷センター	10	—	
H29.03.04	土	赤谷の日	1.いきもの村環境整備、2.アロマウォーターづくり、3.初参加者向けに赤谷プロジェクトの概要と活動についての紹介	赤谷プロジェクトエリア	地域協議会	11	—	
<b>計</b>						<b>161</b>		

						参加人数	来場者数	
<b>総計</b>						<b>1,966</b>	<b>31,792</b>	

## 赤谷の日活動状況調査表

平成28年度末

年度	サポーター 登録者数	参加者数							開催 延べ日数	サ月平均 参加者数	全月平均 参加者数	主な出来事	主な活動内容	イベント等
		サポーター	地域協会	赤セ	NACS-J	林野職員	その他	計						
H17		310	66	74	38	40	58	586	20	16	29	・いきもの村施設利用ルール作成	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷プロジェクト「いきもの村」お披露目 赤谷の炭焼きを語る会(6月) きのこ調査隊(群馬県きのこ同好会) (10月)※1、2月中止
H18		282	58	40	52	8	18	458	22	13	21	・サポーター制度要項作成 ・カラマツ漸伐試験地設置	炭窯、テンモニ、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	猛禽類フィールドワーク研修会(7月)、ホンダテンモニタリング研修(8月)、※1月中止
H19	44	264	28	30	51	6	6	385	22	12	18	・「2号治山ダム」の撤去を決定 ・サポーター登録制度開始	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	地域の伝統文化を学ぶ(伐採搬出)(4月)、※3月中止
H20	48	293	42	29	49	0	2	415	22	13	19	・環境教育・関東ミーティング2008AKAYA	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷の日講座(山梨森総研:長池)(6月)、赤谷自然文化車座座談会(8~3月)、※1月中止
H21	49	346	57	57	64	1	47	572	24	14	24	・「2号治山ダム」の撤去工事完了	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会(4~3月)
H22	49	359	59	67	59	2	12	558	23	16	24	・赤谷の森管理経営計画書完成(H23年度~H27年度)	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	赤谷自然文化車座座談会(4月)そば打ち(7月)、ヤマビル調査(4~12月)、※1月中止
H23	48	245	38	66	33	9	12	403	22	11	18	・第2期赤谷プロジェクト協定締結 ・南ヶ谷湿地保全管理計画書2011作成	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	南ヶ谷・テンモニ・豊凶調査、※4月中止(地震の影響のため)
H24	51	162	51	32	44	2	31	322	25	6	13	・赤セにおける赤谷プロジェクト広報戦略作成 ・たくみの里赤谷プロジェクトPRブースオープン	炭窯、テンモニ、南ヶ谷湿地調査、豊凶調査、環境調査、いきもの村環境整備等	人工林管理を学ぶ(9月) 赤谷の日改良意見交換(2月)
H25	65	78	19	20	15	3	3	138	8	10	17	・新赤谷の日開始(毎月土曜日) ・赤谷プロジェクト10周年記念シンポジウム ・サポーター要項改訂 ・ニホンジカ検討チーム設置	・間伐影響調査、テンモニ、小出侯試験地調査、分育地ニホンジカ調査等	・赤谷の日祭り(8月) ※4月、1~3月は、中止・休止
H26	73	76	21	27	18	3	27	172	9	8	19	・いきもの村将来像への向けての作業始まる ・イヌワシ試験地設定 ・森と恵みと学びの家プレオープン	・いきもの村将来像歩道整備、里山整備、水生昆虫、蝶調査、環境整備等	※ 1月、2月は、休止
H27	82	74	18	24	14	0	11	141	10	7	14	・イヌワシ狩り場創出試験地伐採 ・ニホンジカの餌による誘因試験を開始 ・たくみの里に「森の恵みと学びの家」オープン	いきもの村環境整備(歩道整備、里山整備、水生昆虫)、テンモニ、南ヶ谷湿地調査等	※ 1月、2月は、休止
H28	84	89	14	25	20	3	10	161	10	9	16	・イヌワシ繁殖成功、クマタカ提言公表 ・山の日制記念巨樹・巨木散策会開催 ・みなかみ町全小学校に出前授業	いきもの村環境整備(歩道整備、里山整備、水生昆虫)、テンモニ、南ヶ谷湿地調査等	※ 1月、2月は、休止
計		2,578	471	491	457	77	237	4,311	217	12	20			

※ 参加者数は、1日及び半日参加などでも一人としてカウント  
 ※ 参加者数は、赤谷の日活動ペーパーに記載のあった名前をカウント  
 ※ 活動項目は、赤谷の日活動ペーパーから主だった活動を選定  
 ※ 平成24年度からは、赤セの赤谷の日活動報告書に記載された人数をカウント

※ H25年度からは、赤谷の日の活動日は、一日(H24年度までは、二日)  
 ※ サポーター登録数は、総合事務局(NACS-J)聞き取り  
 ※ 備考欄は、イベント等で、その年度の特徴的な取組を記載

## 赤谷プロジェクトに関する調査報告書等

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	緑の回廊モニタリング調査 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング基本方針	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究	(財)日本自然保護協会	
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	自然再生推進モデル事業報告書 赤谷プロジェクト自然環境モニタリング予備調査	(財)日本自然保護協会	
平成17年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 体制整備と試行開始	(財)日本自然保護協会	
平成18年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 活動成果蓄積システムの構築	(財)日本自然保護協会	
平成19年度	自然再生推進モデル事業報告書 三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)	(財)日本自然保護協会	
平成20年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成21年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成22年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成23年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成24年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成25年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成26年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成27年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成28年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成17年度	新治地区茂倉沢治山事業全体計画作成調査 調査報告書(平成18年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成20年度	平成20年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成21年3月)(調査計画編)	国土防災技術(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成22年3月)	応用地質(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成22年3月) 別冊(委員会議事録)	応用地質(株)	
平成22年度	平成22年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成23年3月) 報告書	応用地質(株)	
平成23年度	平成23年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成24年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成24年度	平成24年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成25年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成25年度	平成25年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成26年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成26年度	平成26年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成27年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成27年度	平成27年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成28年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	



年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成5年度	三国高原猿ヶ京森林空間総合利用整備事業に係る森林施業等への影響調査報告書(平成5年6月)	(株) コクド (社) 日本林業技術協会	
平成19年度	溪流生態系の保全に資する治山事業のモデル的实施について		関東森林管理局 作成
平成22年度	赤谷プロジェクト 赤谷の森・基本構想(2010年3月) ～生物多様性と社会の持続のために、森のあるべき姿をとりもどす～		赤谷プロジェクト 作成
平成23年度	平成23年度 赤谷プロジェクトエリア内の歩道調査事業報告書	緑化技研	
平成23年度	南ヶ谷湿地保全管理計画 2011		赤谷プロジェクト 作成
平成26年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2014年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成27年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2015年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成28年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2016年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成

## 赤谷森林ふれあい推進センター活動報告書(年報)

年度	報告書タイトル	作成者	備考
平成18年度	平成18年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成19年度	平成19年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成20年度	平成20年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫なし
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載無
平成21年度	平成21年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	製本版・在庫27冊
	－赤谷プロジェクトの取り組み		HP掲載(PDF版)
平成22年度	平成22年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成23年度	平成23年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成24年度	平成24年度 赤谷森林環境保全ふれあいセンター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版) <small>※ 構成変更(より見やすく、資料編を追加)</small>
平成25年度	平成25年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成26年度	平成26年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成27年度	平成27年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)
平成28年度	平成28年度 赤谷森林ふれあい推進センター 活動報告	赤谷センター	
			HP掲載(PDF版)

## 関東森林管理局広報誌への掲載記事一覧表

号	年	月	掲載タイトル	内 容
1	16	4	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(通称「赤谷プロジェクト」)がスタート	・赤谷プロジェクトの取組の説明(森林施業等・動植物のモニタリング調査・森林環境教育等)
6	16	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2004年度第1回企画運営会議・活動拠点の整備を開始・地域説明会の開催
7	16	10	赤谷プロジェクト近況報告(第2弾)	・植生WG第1回会合を開催・写真コラム「赤谷の森から」の連載スタート!
8	16	11	赤谷プロジェクト近況報告(第3弾)	・「いきもの村」での活動本格化!・「自然観察指導員に学ぶ」
9	16	12	赤谷プロジェクト近況報告	・11月の「いきもの村」・モニタリング検討委員会現地調査を実施・研究者グループ「赤谷の日」を視察
10	17	1	赤谷プロジェクト近況報告	・12月の「赤谷の日」・全国森林環境保全ふれあいセンター担当者、「赤谷の森」に集合
11	17	2	赤谷プロジェクト近況報告	・新春の「赤谷の日」・「いきもの村」での活動成果
12	17	3	猛禽類との共生を目指す取組 ～生物多様性の保全に向けて～	・指針作成に向けた調査と知見の蓄積・希少野生動植物の生息・生育を守るための委員会の設置・研究機関、自然保護団体等との連携
			赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(サポーターの獲得・2月の「赤谷の日」・「環境教育ミーティング」への参画
13	17	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(合意形成手法の確立・猛禽類などの生態の把握・研究者の関心の獲得)・3月の「赤谷の日」・2004年度第2回企画運営会議を開催・写真コラム「赤谷の森から」連載終了
14	17	5	赤谷プロジェクト近況報告	・平成17年度のプロジェクトエリア内における森林施業予定地で現地検討会を開催・4月の「赤谷の日」
15	17	6	赤谷プロジェクト近況報告	・春を迎えた「赤谷の森」・いきもの村のお披露目会の開催
16	17	7	赤谷プロジェクト近況報告	・小学生が体験した環境教育・中学生が体験した環境教育
17	17	8	赤谷プロジェクト近況報告	・様々な調査活動が本格化!・赤谷の日(テン糞隊)
18	17	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2005年度・前期企画運営会議を開催・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
19	17	10	森の価値を伝えて広めていける、新しい動き～ 企業のCSR活動との連動～(NACS-J)	・CSRと生物多様性保全・現在の日本企業の認識・赤谷プロジェクトにおけるCSR・生物多様性保全をめざしたCSR活動と国有林
			赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類モニタリングWG 2005年度第1回会合の開催
20	17	11	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業全体計画調査
21	17	12	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの相乗効果・高校生が「いきもの村」に
25	18	4	赤谷プロジェクト2005年度・後期 企画運営会議を開催	・後期 企画運営会議を開催
			赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市の中学校教員が「いきもの村」で環境教育の模擬体験
27	18	6	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」での炭焼きを紹介
28	18	7	赤谷プロジェクト近況報告	・「自然環境モニタリング会議・植生WG合同現地視察」を開催・6月の「赤谷の日」
29	18	8	赤谷プロジェクト近況報告	・高校生への環境教育・植生WGによるプロット調査の実施
30	18	9	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
31	18	10	赤谷プロジェクト近況報告	・平成18年 第1回企画運営会議を開催・小中学生への環境教育の実施

号	年	月	掲載タイトル	内 容
32	18	11	赤谷プロジェクト近況報告	・植生調査について
33	18	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」の自然散策会を開催・赤谷プロジェクトを多くの方々に見て頂きました
34	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・第2回溪流環境復元WGが開催されました・林野庁業務研究発表で発表してきました
35	19	2	赤谷プロジェクト近況報告	・地域の方々との猛禽類調査
36	19	3	赤谷プロジェクト近況報告	・梶谷国有林野部長の視察がありました・関東森林管理局業務研究発表会で発表してきました
37	19	4	赤谷プロジェクト19年度の取組み	・プロジェクトの枠組み・具体的な活動
38	19	5	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」にモリゾーキッコロがやってきた・さわやか自然百景・お知らせ(自然散策)
39	19	6	赤谷プロジェクト近況報告	・溪流環境復元WG
40	19	7	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森の自然散策を実施・「赤谷の森」で森林ふれあい実務研修を開催
41	19	8	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回 赤谷の森フォーラム」を開催・植生WG、溪流環境復元WGの現地検討会を開催・利根実業高校生に対する環境教育を実施
42	19	9	赤谷プロジェクト近況報告	・ムササビの生活・ムササビはプロジェクトの協力者
43	19	10	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回ムタコの日」が開催されました・千葉森林管理事務所との連携・森林生態系スペシャリスト養成研修の実施
44	19	11	赤谷プロジェクト近況報告	・企画運営会議の開催・日本イヌワシ研究会 合同調査への協力・地元小学生への環境教育
45	19	12	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷プロジェクトを支えるもう一つの力 サポーターの取組について・赤谷の森の自然散策について
46	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外研修「持続可能な森林経営の実践活動促進Ⅱ研修」・パナマ国別研修「保護区管理」コース研修・「アマゾン群馬の森」JICA草の根技術協力事業研修
47	20	2	赤谷プロジェクト近況報告	・なぜホンドテン？・ホンドテンのモニタリング調査
48	20	3	赤谷プロジェクト近況報告	・センサーカメラを活用した取組について・赤谷の森の自然散策(冬版)の開催について
49	20	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクト5年目の春が始まります・情報発信活動について(「赤谷の森だより」の発行・パンフレットの作成・マスメディアへの情報提供・HPの更新・「関東の森林から」の定期的な近況報告)
特集号	20	4	〈事例14-1～2〉赤谷プロジェクト	・赤谷プロジェクトの紹介と千葉森林管理事務所との連携した環境教育の取組などを掲載
50	20	5	赤谷プロジェクト近況報告	・モリゾーとキッコロが「赤谷の森林」にやってきた・4月の「赤谷の日」
51	20	6	赤谷プロジェクト近況報告	・(独)森林総合研究所による植生調査・「コリドー現地検討会2008in赤谷」の開催
52	20	7	赤谷プロジェクト近況報告	・放送大学面接授業・千葉市中学生への環境教育の実施
53	20	8	赤谷プロジェクト近況報告	・森林ふれあい実務研修の実施・ほ乳類モニタリングWGの開催・南ヶ谷湿地の調査
54	20	9	赤谷プロジェクト近況報告	・環境教育関東ミーティングについて・「第3回ムタコの日」の開催
55	20	10	赤谷プロジェクト近況報告	・林野庁長官赤谷プロジェクト視察・森林生態系スペシャリスト養成研修
56	20	11	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外技術研修生の受け入れ・環境教育ワーキンググループ会議の開催・平成20年度 第1回企画運営会議の開催
57	20	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」で自然散策・地元小学生に森林環境教育
58	21	1	赤谷プロジェクト近況報告	・「環境教育・関東ミーティング2008・AKAYA」の開催
59	21	2	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」の炭焼き・千葉森林管理事務所との連携・自然環境モニタリング会議の開催
60	21	3	赤谷プロジェクト近況報告	・「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影・「ニッセイ緑の環境講座」で赤谷プロジェクトの取組を講義・猛禽類モニタリングワーキングの開催

号	年	月	掲載タイトル	内 容
61	21	4	赤谷プロジェクト近況報告	・自然環境モニタリング会議、企画運営会議の開催・環境教育への取組(新治小での環境教育の実施・「赤谷の森」自然散策会の開催・新治中の総合学習への協力・高原千葉村自然教室指導者講習会の開催)
62	21	5	赤谷プロジェクト近況報告	・養成研修専攻科(第48期)へ講義・「赤谷の日」の活動
63	21	6	赤谷プロジェクト近況報告	・水生昆虫談話会メンバーの来訪・放送大学の面接授業・新治中学校総合学習への協力
64	21	7	赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市中学校への環境教育の実施・「赤谷の森自然散策」の開催
65	21	8	赤谷プロジェクト近況報告	・ムタコ沢の水源かん養機能について・高校生への森林環境教育・植生管理の指針づくり
66	21	9	赤谷プロジェクト近況報告	・レッツ！サマースクールでの森林環境教育・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67	21	10	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業現地取材について・府中市緑の活動推進委員研修会・水生昆虫観察会の開催
68	21	11	赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類調査について・自然環境モニタリング会議の開催・JICA海外研修生の受け入れ
69	21	12	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA国別研修・インド環境森林省・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催
70	22	1	赤谷プロジェクト近況報告	・南ヶ谷湿地の堆積物調査・企画運営会議の開催・「赤谷の森を語る会」の開催
71	22	2	赤谷プロジェクト近況報告	・1月の「赤谷の日」活動・植生管理ワーキンググループ
72	22	3	赤谷プロジェクト近況報告	・現代都市文化研究会の視察・「赤谷の森自然散策」を開催・環境教育ワーキンググループの取組
73	22	4	赤谷の森から	・地元小学校で環境教育・自然教室指導講習会を開催・第2回企画運営会議の開催
75	22	6	赤谷の森から	・4月の「赤谷の日」の活動・「ムタコの日」実行委員会の開催
77	22	8	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策を開催・地域の高校生への森林環境教育・植生管理ワーキンググループ現地検討会
79	22	10	赤谷の森から	・地域の小学生に森林環境教育・「ムタコの日」における森林整備活動
81	22	12	赤谷の森から	・森林生物多様性見学会・秋の自然散策
83	23	2	赤谷の森から	・ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き・環境教育WGプログラム作成に向け現地検討階を実施
85	23	4	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第1回(プロジェクトの発足)[生物多様性の復元と持続的な地域づくり・協働三者のプロジェクトへの期待]
88	23	7	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第2回(プロジェクトの仕組)[主な取組の紹介(自然林回復試験)]
91	23	10	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第3回(主な取組)[溪流環境の復元(治山ダム中央部撤去)・猛禽類のモニタリング・赤谷の日・サポーター・環境教育・視察]
94	24	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第4回(赤谷の森管理経営計画書)[計画作成当初より協定3者が参加・生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載・順応的管理について明記]
97	24	4	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第1回(自然林復元試験地)[これまでの試験でわかったこと・新しい伐採試験地]
100	24	7	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第2回(イヌワシとクマタカ)[風の精 イヌワシ・森の精 クマタカ]
103	24	10	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第3回(ホンドテン)[テンの視点で森を見る・ボランティアで調査・今までに分かったこと]
106	25	1	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第4回(溪流環境復元WGの取組)[溪流環境とは・溪流環境の調査・溪流環境の調査を行って]
109	25	4	赤谷の森から	・「南ヶ谷湿地周辺の間伐を終えて」この湿地とその周辺の人工林の扱い(南ヶ谷湿地保全管理計画2011)について紹介
112	25	7	赤谷の森から	・「持続的な地域づくりに向けて」水源保全活動「ムタコの日」や「旧三国街道マップづくり」など様々な取組を紹介
115	25	10	赤谷の森から	・「ロケットリーフ」の様々な活用～大空高くロケットリーフで支援のWA!～ 環境教育教材の「空飛ぶタネの模型」を開発し、その取組みを紹介
118	26	1	赤谷の森から	・「市民参加のモニタリングで見えてきた赤谷の森」ホンドテンモニタリングのその成果で見えてきた赤谷の森を紹介

号	年	月	掲載タイトル	内 容
120	26	3	赤谷プロジェクト10周年シンポジウム	・平成26年3月9日東京農工大学において、日本各地で「地域づくり」に携わりの活躍されている方々をゲストにお迎えし、開催したシンポジウムについて紹介
122	26	5	2014敷島公園まつり	・平成26年4月29日群馬県立敷島公園において行われた「2014敷島公園まつり」に、技術普及課とともに参加した様子を紹介
123	26	6	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトサポーターが中心となって進めてきた「ホンドテンモニタリング」の成果を活用する、環境教育教材の開発の検討状況を紹介
126	26	9	地域とつながる赤谷プロジェクト	・みなかみ町が地元の人に地元を好きになってもらうために行っている「みなかみコイラ」に、パートナーとして参画している地域とのつながりの一つを紹介
130	27	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの取組をわかりやすく伝えるために取り組んでいる「ふれあい活動」について、平成26年度の取組を紹介
138	27	12	赤谷の森から	・「関東森林管理局森林・林業技術交流発表会予告編」ニホンジカ誘引試験と地域とつながる国有林の取組について紹介
139	28	1	イヌワシの狩り場創出試験	・イヌワシが狩りをするのできる環境の創出試験の状況報告取組を紹介
142	28	4	赤谷の森から	・ホンドテンモニタリングを活用した環境教育教材【森へのアプローチ】「ホンドテンは森をどう見ている？」を紹介
146	28	8	赤谷の森から	・猛禽類ワーキンググループが取りまとめた「クマタカを指標とした生物多様性の保全に資する森林管理 ―赤谷プロジェクトからの提言―」を紹介
147	28	9	赤谷の森に巨樹・巨木を見に行こう！	・山の日制定記念として赤谷センターが初開催した小出俣の巨樹巨木コースの散策会の開催結果を紹介
150	28	12	赤谷の森から	・赤谷の森やその周辺のフィールドを活用した屋外での森林環境教育活動や、小学校への出前授業の取組を紹介



## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第4号～13号)

番号	表紙		コラム		赤谷プロジェクト紹介				赤谷プロジェクトに望むこと		
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	分類	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
4	赤谷の森の最高峰(仙ノ倉山)		晩秋の小出俣林道を歩く	林泉(地域協議会)	赤谷プロジェクト概要	赤P		赤セ	時間がないんだ 森林は...	岸 昌孝	NPO利根川上下流連携支援センター副事務局長
5	様々な歴史を刻む(小出俣エリア)		一本の木の生涯	中村隆史(赤セ)	大型猛禽類の調査を通じて	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	高等学校における環境教育	松井孝夫	群馬県立尾瀬高等学校自然環境課主任
6	ミズナラ、猛禽調査等		森を科学するとは	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷の森と植生管理の活動について	植生	亀山 章	赤谷プロジェクト自然再生モニタリング会議座長	アメリカ・カイバブ国有林におけるオオタカの研究と保全	遠藤孝一	日本オオタカネットワーク代表
7	冬の森林		五年目を迎える赤谷プロジェクト	岡村興太郎(地域協議会)	赤谷の森とホンドテン調査について	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術研究所所長	求められている環境教育	春田 隆	群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科長教諭
8	下層に広葉樹が生育するカラマツ人工林		森林の取扱いの難しさ	藤江達之(関東森林管理局)	赤谷プロジェクト概要	赤P	茅野恒秀	日本自然保護協会			
9	炭窯・カヤ刈り		暮らしが物語る森と人間	茅野恒秀(日本自然保護協会)	AKAYAプロジェクトと環境教育	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 常勤理事			
10	雪景色		環境の時代における全国初の取り組み	河合明宣(地域協議会)	赤谷プロジェクトと地域づくりー旧三国街道の活用を通じてー	地域づくり	茅野恒秀・土屋俊幸	日本自然保護協会・自然環境モニタリング会議委員会			
11	新治小遠足		持続的な地域づくりに取り組んでいます	林 泉(地域協議会)	赤谷の森の溪流環境	溪流環境	相原慎二	赤セ	里山と人との関わりのこれからをみつめて	深津 加津枝	京都大学 准教授
12	仙ノ倉直下から赤谷を望む		三国街道でお宝探し	田中直哉(赤セ)	プロジェクトが発足してからわかったこと(赤谷の森のイヌワシ・クマタカ)	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	次世代を育む活動の必要性	利根川 太郎	みなかみ町立新治小学校長
13	茂倉沢治山ダム・ムタコの日・ムタコ沢水質調査		ともに歩むことの大切さ	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて	森林計画		関東森林管理局計画課	体験型環境教育との出会い	岡田千穂	みなかみ町立新治中学校教諭

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第14号～22号)

番号	表紙		赤谷の森写真館		赤谷の森でわかったこと				赤谷プロジェクトに望むこと					
	テーマ	撮影者	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等			
14	クロサンショウウオ	竹村秀雄 星野理恵子	ブナ・モリアオガエル等	茅野恒秀 竹村秀雄 林 武 川端白人	木材、薪、炭、肥料・・・ 生活を支えていた赤谷の森	地域づくり	茅野恒秀	岩手県立大学 総合政策学部 講師	赤谷プロジェクトに望むこと	西田真哉	トヨタ白川 郷自然学校 校長	サポーター活動の紹介		
15	ムタコの日	安田剛士	立ち枯れたブナ・オコジョ等	茅野恒秀 出島誠一 竹村秀雄 前田 修	センサーカメラとテンモ二隊の活躍	哺乳類 テン	足立高行	応用生態技術 研究所 所長	赤谷プロジェクトに望むこと	藤江達之	森林総合研 究所			
16	ニホンカモシカ	青木邦夫	オオカメノキの冬芽・ウサギの足跡等	茅野恒秀 竹村秀雄 星野理恵子 小鮎 守 平井希一	自然の森の姿	植生	亀山 章	自然環境モニ タリング会議 座長	赤谷プロジェクトに望むこと	江戸家猫八	動物ものま ね演芸家	テーマ	執筆者	所属等
17	熊の親子		初夏の三国は、ツツジ街道	竹村秀雄 川端白人	新たな森づくり、スタート！ 「赤谷の森管理経営計画」	森林計 画		関東森林管理 局計画課	赤谷プロジェクトに望むこと	清水英毅	森林塾青水 塾長	活動の紹 介	藤田 卓	サポーター
18	ムタコの日		美しいチョウたち	小林茂男 出島誠一 前田 修 藤田 卓	人工林を自然に戻して みようという試み	植生	塚田夢人	東京農工大学 森林生態学研 究室OB	自然は素晴ら しい資源	施井真希子	みなかみ町 観光協会	ホンデン モニタリ ング調査	青木邦夫	サポーター
19	初冬の三国山		『赤谷の森、樹木たちは今！』	平井希一 赤セ 和田晴美 福田耕二 竹村秀雄 小鮎 守	姉妹プロジェクト「綾の照 葉樹林プロジェクト」につ いて	その他	土屋俊幸	自然環境モニ タリング会議委 員会	赤谷プロジェクトに望むこと	岸 良昌	みなかみ町 長	豊凶調査	豊凶調査 チーム	サポーター
20	ブナの実生	竹村秀雄	『ハイキングコースで 可憐な草花と出会 う！』	越尾 武	「赤谷の森のコウモリ」	哺乳類 コウモ リ	三笠暁子	コウモリの会事 務局	赤谷プロジェクトに望むこと	河合明宣	地域協議会	南ヶ谷湿地	竹村秀雄 和田晴美 前田 修	サポーター
21	樹液を吸うカブトムシ♀	赤セ	カブトムシ採りの思い出	画像：赤セ 文：小池俊弘	スギの人工林を”自然に 戻す”実験を始めました	植生	藤田 卓	日本自然保護 協会	人と自然が共 生できる環境 へ	阿部政英	高原千葉村	成功したヤ マビル対策	坂口・星野	サポーター
22	春を待つフキノトウ	松田大介	三国山・平標山の 花々	林ふさ子	ニホンザルを調べてみた ら	哺乳類 サル	安田 剛士	地域協議会	「畏敬の念と 感謝」	小林友子	新治小学校 六年担任	オオムラサ キの幼虫探 し	前田 修 小林茂男 小鮎 守	サポーター



## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第23号～28号)

番号	表紙:赤谷の森ミニ写真館		P2:赤谷の森でわかったこと		P3:トピックス			P4:活動トピックス	
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	執筆者	その他		
平成25年度	23	「赤谷川上流」 【H25.7.18 溪流調査時に撮影】	赤谷森林ふれあい推進センター	「打たれ強い水生昆虫」	愛知工業大学教授:内田 臣一	・赤谷プロジェクト地域協議会 新会長就任ご挨拶	赤谷プロジェクト地域協議会 会長 河合 進	・赤谷プロジェクトに関するイベント予定	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(4月～7月)
	24	「赤谷の森のきのこ(タマゴダケ)」	赤谷森林ふれあい推進センター	「赤谷の森でニホンジカが増えたらどうなるのか?」	東京農工大学教授:梶 光一	・赤谷プロジェクトに期待すること	関東森林管理局 計画保全部長 寺川 仁	・2013みなかみオンパク(ココイラ)にパートナーとして初参加! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関係者の異動交代等)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(8月～11月)
	25	「赤谷の森に春が来た!(春一番に咲く!マルバマンサク)」	青木邦夫 (赤谷プロジェクトサポーター)	「森の地面で暮らす飛べない昆虫たち」	宇津井環境調査事務所: 宇津井 守	・赤谷プロジェクトに期待すること	(公財)日本自然保護協会保全研究部部長 朱宮 丈晴	・赤谷の森学校開校しました! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(平成25年度赤谷プロジェクト地域協議会総会)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(H25.11月～H26.3月)
平成26年度	26	「赤谷の森の彩(いろいろ)」	赤谷森林ふれあい推進センター	「利根川最上流部、赤谷エリアの溪流環境」	溪流環境ワーキンググループ座長・NACS-J参与・国土館大学: 中井 達郎	地域と繋がる赤谷プロジェクト	泊まれる学校さる小学校長 飯島 健治	・赤谷プロジェクト活動報告会【基調講演 東京大学准教授:蔵治 光一郎】 ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関東森林管理局人事異動 H26.4.1)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(4月～7月)
	27	「旧三国街道の動物たち」	赤谷森林ふれあい推進センター	「イヌワシの舞う豊かな森を未来へ」	(公財)日本自然保護協会・赤谷プロジェクト猛禽類WG事務局 出島 誠一	地域と繋がる赤谷プロジェクト	民話と紙芝居の家 宮崎 りえ子	・みなかみココイラ2014に参加! ・森の恵みと学びの家プレオープン! ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定 ・お知らせ!(関東森林管理局人事異動 H26.11.1)	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(8月～11月)
	28	「自然の造形美!」	赤谷森林ふれあい推進センター	「赤谷の森で増えるニホンジカ」	(株)群馬野生動物事務所代表取締役 春山 明子	地域と繋がる赤谷プロジェクト	上牧温泉辰巳館 代表取締役社長 深津 卓也	・遊びにおいでよ!赤谷の森へ:【赤谷の森学校代表 川端 自人】 ・赤谷プロジェクトに関するイベント予定	・赤谷プロジェクトの活動トピックス(H26.11月～H27.4月)

## 赤谷の森だよりの掲載内容一覧(第29号～34号)

番号	表紙: 赤谷の森ミニ写真館		P2: 赤谷の森でわかったこと			P3: 地域と繋がる赤谷プロジェクト		P3: トピックス		
	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	執筆者	所属等	内容	
平成27年度	29	「いのちの輝き」モリアオガエルの産卵他	竹村秀雄他	アンケートからわかる住民の自然利用と「赤谷の森」への期待	地域づくり	茅野恒秀	信州大学	木村 崇利	みなかみ町観光協会	たくみの里にオープン! 「森の恵みと学びの家」
	特集号	「赤谷の森・基本構想2015」の概要								
	30	「赤谷の森の秋」紅葉を纏う滝他	藤澤将志他	カスタネットからはじまる森をいかした地域づくり	地域づくり	出島誠一	日本自然保護協会	小野 宏和	みなかみ町エコパーク推進室	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
	31	小出侯の「巨樹・巨木」	赤谷森林ふれあい推進センター	小出侯に「巨樹・巨木観察コース」を作りました!	環境教育	横山隆一	日本自然保護協会 参事	石坂 克之	新治小学校教諭(理科)	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
平成28年度	32	赤谷の森で出会う花たち(春～初夏)	センター、サポーター	クマタカを指標とした森林管理に関する提言	猛禽類	魚住所長	赤谷森林ふれあい推進センター	木村 元	環境省谷川自然保護官事務所自然保護官	たくみの里にオープン! 「森の恵みと学びの家」
	33	赤谷の森の分解者(夏～秋)	センター、サポーター	イヌワシ赤谷ペア、7年ぶりの繁殖成功!	猛禽類	出島誠一	日本自然保護協会	林 和高	みなかみ町立新治小学校校長	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
	34	旧三国街道・三国峠に佇む道祖神	センター、サポーター	自然林への誘導に取り組んできて	植生	藤木久司	赤谷森林ふれあい推進センター	富澤 健一	カスタネット工房	たくみの里「森の恵みと学びの家」から

## 自然環境モニタリング会議及び各WG活動の研究論文・研究発表 等

### <自然環境モニタリング会議>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	官民協働による新しい国有林管理～生物多様性復元と持続的な地域づくりを目指した「赤谷プロジェクト」8年間の成果と今後の課題～趣旨説明：「赤谷プロジェクト」国有林管理のための意思決定・官民協働の枠組み	亀山章
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	赤谷の森の植生の現状評価と森林管理への反映	長池卓男
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	イヌワシ・クマタカを指標とした生態系評価と、森林管理への反映	山崎亨
2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会 (3/17)	哺乳類を指標とした生態系評価	藤田卓

### <植生管理WG>

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012	Forest Ecology and Management 283(1):48-55	Interactive influences of distance from seed source and management practices on tree species composition in conifer plantations	Takuo Nagaike, Taku Fujita, Seiichi Dejima, Tsunehide Chino, Seiji Matsuzaki, Yoichiro Takanose, Kazuaki Takahashi
2011	Forest Ecology and Management 262(7):1280-1288	Effects of management, environment and landscape conditions on establishment of hardwood seedlings and saplings in central Japanese coniferous plantations.	Hirata, A., Sakai, T., Takahashi, K., Sato, T., Tanouchi, H., Sugita, H. & Tanaka, H.
2010/3	第121回日本森林学会大会	関東の針葉樹人工造林地における伐採方法が広葉樹天然更新に及ぼす影響	塚田夢人 他
2010/3	東京農工大学修士論文	*自然林復元試験地（カラマツ林）における伐採実験	塚田夢人

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2009/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の種組成に保残帯からの距離と土地利用前歴が及ぼす影響	井上歩
2012/6	現代林業 (552) :38-42	お役に立ちます! 最新研究紹介 冷温帯におけるスギ人工林皆伐後の森林更新 : 埋上種子の樹種構成	酒井武、高橋和規、杉田久志
2011/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2012/10	第2回関東森林学会大会口頭発表	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
2013/3	第124回日本森林学会大会ポスター発表	カラマツ人工林内において天然更新した広葉樹の更新時期および成長過程	小川智也
2008/3	東京農工大学卒業論文	人工林の伐採跡地の植生回復に関する研究	田中裕 卒論

## &lt;猛禽類WG&gt;

年月	雑誌名/会合名 等	タイトル	執筆者/発表者
2008/9	日本鳥学会・自由集会 (9/13)	イヌワシ・クマタカを象徴とした森林生態系の保全管理 : 赤谷プロジェクトの紹介と最近の繁殖状況、森林整備との関係	辻村千尋 他

## &lt;ほ乳類WG&gt;

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2012/11	群馬県立自然史博物館研究報告(16):131-144	群馬県みなかみ町のコウモリ類	佐々木尚子、三笠暁子、福井 大、吉倉智子、水野昌彦、今井英夫、大沢啓子、大沢夕志、佐藤顕義、野口郊美、本多宣仁、峰下耕、藤田卓、出島誠一
2007/5	日本生態学会九州支部(地区)大会	夏緑林におけるテンの食性の地域差ー北部九州と関東周辺ー	足立高行・荒井秋晴・桑原佳子
1905/6	「水源生態研究会議 森林生態研究委員会」10周年記念報告	森林環境評価のための指標種としてのテン <i>Martes melampus</i> の役割	荒井秋晴・足立高行・桑原佳子他.
1905/7	SADO環境科学研究所報告	佐渡トキ野生復帰ステーション周辺におけるテン及びホンドイタチの糞分析による採餌傾向の解析	足立高行・桑原佳子. 川上藍・後藤唯
2011/9	日本ほ乳類学会大会	群馬県赤谷地域におけるホンドテンの生息地選択～主要な餌植物の分布との関連性～	星野莉紗、藤田卓、足立高行、金子弥生
2012/3	日本生態学会第59回、大津	The circadian activity pattern of sympatric forest mammals in central Japan	Hoshino, L., Fujita, T., Kaneko, K.
2008/3	東京農工大学卒業論文	野生動物の空間利用における林分構造・景観構造の関係	渡辺晶

## &lt;溪流環境復元WG&gt;

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
2011/3	プロ・ナトゥーラ・ファンズ第16期助成成果報告書	砂防堰堤撤去による溪流植生復元のためのモニタリングおよび回復評価手法の開発	吉川正人、林雄太
2011/3	日本生態学会第58回全国大会、札幌	群馬県赤谷川上流域における治山堰堤の設置とその破損が溪畔植生に与える影響	林雄太、吉川正人、藤田卓
2010/3	日本生態学会第57回全国大会、東京	治山ダムによって土砂送流が抑制された溪流の植生分布 ～AKAYAプロジェクト治山ダム撤去対象地・茂倉沢の事例～	林雄太、吉川正人、藤田卓

年月	雑誌名/大会名 等	タイトル	執筆者/発表者
1905/7	土木学会誌、第94巻7号、22-24頁	協働による溪流環境の復元の試み-赤谷プロジェクトにおける新たな治山事業	茅野恒秀
2012/1	砂防学会誌、第64巻 第5号(通巻298号)	溪流環境の復元を目的に加えた治山事業の計画と施工：茂倉沢における試み	高橋剛一郎、井口英道
2009/1	日経コンストラクション(1月22日号)	人間ドキュメント タブーに向き合い治山ダムを撤去--防災機能と溪流環境の両立を目指す推進役に	松浦隆幸
2009/8	現代林業2009年8月号	森と水--森林管理の現場から(第20回)国有林の共同管理と治山ダム部分撤去--利根川源流・赤谷プロジェクトの挑戦	蔵治光一郎
2011/9	川と湖を見る・知る・探る陸水学入門(日本陸水学会 編)	官民一体となった流域管理～赤谷プロジェクトの挑戦とその波及～	藤田卓、朱宮丈晴

## &lt;その他&gt;

年月	雑誌/大会/著書 等	タイトル	執筆者/発表者
2008/3	東京農工大学 農学部卒業論文	働型国有林管理プロジェクトにおける地域づくりの課題と展望～赤谷プロジェクト旧三国街道フットパス網計画を事例として～	南部さやか
2011/3	東京農工大学 農学部修士論文	官民協働型森林管理における地域環境ガバナンスの実態と課題～赤谷プロジェクトを事例として～	林あかね
2009	環境社会学研究 第15号、25-38頁	プロジェクト・マネジメントと環境社会学：環境社会学は組織者になれるか、再論	茅野恒秀
2009	よくわかる環境社会学	「赤谷プロジェクト」	茅野恒秀
2011	環境社会学	第6章「自然保護問題」	茅野恒秀

年月	雑誌／大会／著書 等	タイトル	執筆者／発表者
2012	法政大学 社会科学研究所 博士論文	環境問題解決過程における政策課題設定のメカニズムに関する研究 ～自然保護問題の解決過程と制度変革の検討を通じて～	茅野恒秀
2005	森づくりフォーラム第106号、10-11頁	行政と自然保護NGOとの国有林野『共同管理』 赤谷プロジェクト	茅野恒秀
2016	東京農工大学 農学部 景観生態学研究室 卒業論文	シカ柵をどこに設置する？～有蹄類の指向性および有蹄類と植物の遭遇可能性に基づく優先設置区域を選定する枠組みの提案～	篠田悠心
2016	上智大学 地球環境学研究所 (地球環境学専攻) 学位論文	「2015年度学位論文 協働による環境共生型の森林管理のあり方ー赤谷プロジェクトを事例としてー」	伊藤純子



# 平成28年度 赤谷森林ふれあい推進センター作成ポスター

**~新緑の三国街道をゆく~ 赤谷の森自然散策**  
旧三国街道

AKAYA 開催日:平成28年5月21日(土)小雨決行

プアやミズナラの鮮やかな緑は、リンゴの青さなど、春もいまだ残っている。三国街道を散策します。最高300mの標高・自然環境が保たれるコースです(約4km)。朝霧の朝、静かな空気に包みこまれる秋や紅葉の美しさも、時を忘れてとどろく水の音を聴くときと、です。

行程:みなかみ町役場8:30 → 新潟県登山口9:30 → 三国権現(峠) → 東屋(東屋⇄三坂茶屋)12:30【昼食※民話と紙芝居の鑑賞(おやつ付き)】14:00 → 群馬県側三坂線入り口15:00 → みなかみ町役場 15:50

1 集合解散の場所・時間等 (みなかみ町役場から資料バスが出ます)  
(1)集合場所 みなかみ町役場 3号車  
(2)バス乗降 行先:みなかみ町役場前30分 → 三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
帰り:三国トンネル群馬県側三坂線駐車場 15:00着 → みなかみ町役場15:50着  
※ 車で送迎する方:みなかみ町役場駐車場へ、15:15まで来て下さい。  
※ みなかみ町役場の最寄駅は、上野原(後援駅)です。

2 募集人員 20名 (小学生は保護者同伴)  
③ ボランティアの募集  
自然観察の案内や運営に参加してみたい方、ぜひボランティアスタッフとしてご協力ください。  
4 参加費 無料 (資料代は別途の持ち帰)  
5 募集締切 平成28年5月13日(金)17時迄  
6 注意事項  
服装は、自然観察ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)として下さい。小雨決行、雨天時は中止です。昼食、飲み物は各自持ち込み。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

7 申し込み方法  
民話、紙芝居、民謡、電報番号を下記の問合せ先へメール、電話等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントページをご覧ください。(先着順に受け付けます)

問合せ先: 赤谷森林ふれあい推進センター  
〒392-1 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**赤谷の森へ巨樹・巨木を見に行こう!**

【山の日制定記念】

開催日:平成28年8月27日(土)小雨決行

紅葉に染まるプア・ミズナラの巨木を観賞しながら、旧三国街道を散策。最高300mの群馬県側のコース(約4km)。朝霧の朝、静かな空気に包みこまれる秋や紅葉の美しさも、時を忘れてとどろく水の音を聴くときと、です。

行程:三坂線入り口(群馬県側)10:00 → 東屋(東屋⇄三坂茶屋) → 長岡権現の墓 → 三国権現12:30【昼食※紙芝居鑑賞(おやつ付き)】14:00 → 三国トンネル入り口(群馬県側) → 三坂線入り口(群馬県側)14:45

1 集合解散の場所・時間等 (みなかみ町役場から資料バスが出ます)  
(1)集合場所 みなかみ町役場 3号車  
(2)バス乗降 行先:みなかみ町役場前30分 → 三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
帰り:三国トンネル群馬県側三坂線駐車場 15:00着 → みなかみ町役場15:00着  
※ 車で送迎する方:みなかみ町役場駐車場へ、15:15まで来て下さい。  
※ みなかみ町役場の最寄駅は、上野原(後援駅)です。

2 募集人員 20名 (小学生は保護者同伴)  
③ ボランティアの募集  
自然観察の案内や運営に参加してみたい方、ぜひボランティアスタッフとしてご協力ください!  
4 参加費 無料 (資料代は別途の持ち帰)  
5 募集締切 平成28年8月19日(金)17時迄  
6 注意事項  
服装は、自然観察ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)として下さい。小雨決行、雨天時は中止。昼食、飲み物は各自持ち込み。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

7 申し込み方法  
民話、紙芝居、民謡、電報番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントページをご覧ください。(先着順に受け付けます)

問合せ先: 赤谷森林ふれあい推進センター  
〒392-1 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**赤谷の森自然散策**  
~旧三国街道~

私の秋、赤谷の森にありました。

AKAYA 開催日:平成28年10月23日(日)小雨決行

紅葉に染まるプア・ミズナラの巨木を観賞しながら、旧三国街道を散策。最高300mの群馬県側のコース(約4km)。朝霧の朝、静かな空気に包みこまれる秋や紅葉の美しさも、時を忘れてとどろく水の音を聴くときと、です。

行程:三坂線入り口(群馬県側)10:00 → 東屋(東屋⇄三坂茶屋) → 長岡権現の墓 → 三国権現12:30【昼食※紙芝居鑑賞(おやつ付き)】14:00 → 三国トンネル入り口(群馬県側) → 三坂線入り口(群馬県側)14:45

1 集合解散の場所・時間等 (みなかみ町役場から資料バスが出ます)  
(1)集合場所 みなかみ町役場 3号車  
(2)バス乗降 行先:みなかみ町役場前30分 → 三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
帰り:三国トンネル群馬県側三坂線駐車場 15:00着 → みなかみ町役場15:00着  
※ 車で送迎する方:みなかみ町役場駐車場へ、15:15まで来て下さい。  
※ みなかみ町役場の最寄駅は、上野原(後援駅)です。

2 募集人員 20名 (小学生は保護者同伴)  
③ ボランティアの募集  
自然観察の案内や運営に参加してみたい方、ぜひボランティアスタッフとしてご協力ください!  
4 参加費 無料 (資料代は別途の持ち帰)  
5 募集締切 平成28年10月15日(金)17時迄  
6 注意事項  
服装は、自然観察ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)として下さい。小雨決行、雨天時は中止。昼食、飲み物は各自持ち込み。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

7 申し込み方法  
民話、紙芝居、民謡、電報番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントページをご覧ください。(先着順に受け付けます)

問合せ先: 赤谷森林ふれあい推進センター  
〒392-1 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**冬の森で「いきもの」たちを感じよう! 赤谷の森自然散策**

AKAYA 開催日:平成29年2月11日(土)祝

スノーシューを履いて、雪上でのアニマルトランクアップと冬鳥の観察などで、雪の中の生き物の生活をじっくり見てあげよう! 雪の森に響く鳥のさえずりや、雪の森に響く水の音など、雪の森の生き物たちと触れ合おう。イベントの最後は、民謡と紙芝居の鑑賞にて、雪の森の生き物たちと触れ合おう。イベントの最後は、民謡と紙芝居の鑑賞にて、雪の森の生き物たちと触れ合おう。

期間 内容  
9:00~9:30 集合式等 (雪上でのアニマルトランクアップと冬鳥の観察の準備)  
9:30~12:30 冬の自然観察 (鳥のさえずりや、雪の森に響く水の音など)  
12:30~14:00 昼食 (雪の森の生き物たちと触れ合うおやつ付き)  
14:00~15:00 民謡と紙芝居の鑑賞にて、雪の森の生き物たちと触れ合おう (紙芝居)

1 集合解散の場所・時間等 (みなかみ町役場から資料バスが出ます)  
(1)集合場所 みなかみ町役場 3号車  
(2)バス乗降 行先:みなかみ町役場前30分 → 三国トンネル群馬県側三坂線駐車場9:30着  
帰り:三国トンネル群馬県側三坂線駐車場 15:00着 → みなかみ町役場15:00着  
※ 車で送迎する方:みなかみ町役場駐車場へ、15:15まで来て下さい。  
※ みなかみ町役場の最寄駅は、上野原(後援駅)です。

2 募集人員 20名 (小学生は保護者同伴)  
③ ボランティアの募集  
自然観察の案内や運営に参加してみたい方、ぜひボランティアスタッフとしてご協力ください。  
4 参加費 無料 (資料代は別途の持ち帰)  
5 募集締切 平成29年2月3日(金)17時迄  
6 注意事項  
服装は、自然観察ができるような服装(帽子、手袋、登山靴等、雨具等)として下さい。小雨決行、雨天時は中止です。昼食、飲み物は各自持ち込み。(当日の緊急連絡先:090-4967-6830)

7 申し込み方法  
民話、紙芝居、民謡、電報番号を下記の問合せ先へメール等でお申し込みください。詳細は当センターホームページのイベントページをご覧ください。(先着順に受け付けます)

問合せ先: 赤谷森林ふれあい推進センター  
〒392-1 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**2016年、イブニング赤谷ヘアが7年ぶりに子育てに成功!**

赤谷ヘア雌(♀) 赤谷ヘアは仲良し夫婦 赤谷ヘア雄(♂)

獲物を運んだり 巣の材料を運んだり

雪にも負けず 巣はこんな岩場に

赤谷の森を飛ぶ幼鳥(キズナちゃん)  
(成長との違いが分かるかな?)

キズナちゃん  
キズナちゃん

主役: 群馬県森林管理課 赤谷森林ふれあい推進センター  
共催: 赤谷森林ふれあい推進センター  
③申込み・問合せ先: 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**鳥のこと、木のこと、生き物の営みのこと、赤谷の森が映りこんでくれた**

主役: 群馬県森林管理課 赤谷森林ふれあい推進センター  
共催: 赤谷森林ふれあい推進センター  
③申込み・問合せ先: 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**赤谷の森・野生生物カード**

主役: 群馬県森林管理課 赤谷森林ふれあい推進センター  
共催: 赤谷森林ふれあい推進センター  
③申込み・問合せ先: 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp

**赤谷の森の花壁**

主役: 群馬県森林管理課 赤谷森林ふれあい推進センター  
共催: 赤谷森林ふれあい推進センター  
③申込み・問合せ先: 群馬県赤谷市赤谷3923-1  
赤谷森林ふれあい推進センター 担当:藤本・松井  
電話:0278(60)1272 FAX:0278(24)5562  
メール:ks\_akaya\_postmaster@nyya.maff.go.jp